

漢語話者のための  
わかりやすい日本語シリーズ

1

# 発音



財団法人 国際文化フォーラム

財団法人 国際文化交流中心



漢語話者のための  
わかりやすい日本語シリーズ①

# 発音



## はしがき

国際文化交流を担う日本の民間財団として 1987 年に設立された国際文化フォーラムは、発足以来一貫して中国の日本語教育をサポートする事業を行ってきました。とりわけ力を注いできたのは中高校における日本語教育でした。日中国交回復 20 周年の 1992 年より 4 年連続で開催した「全中国中高校生日本語弁論大会」や、1996 年より毎夏開催している東北部（内蒙古自治区、吉林省、黒龍江省、遼寧省）の普通中学（中学、高校を含む）の教師を対象とした「中国中高校日本語教師研修会」、そして中国人民教育出版社の中等教育向け日本語教科書編纂への協力、日本語教師への情報提供及びネットワーキングなど、日本語教育の基盤整備をめざしたこれらの事業に、中国側関係者と共同で取り組んできました。

本教材は日本語教師のレベルアップをめざした上記研修会のテキストとして制作したものでありますが、教師が研修会後も座右に置いて、日々の疑問や質問に対処したり、新しい教授法を自分のものにしたりすることを目的として編集されています。日本人と直接話した経験も持たず、研修の機会も教材も少ない中で、何十年も日本語教育に心血を注いできた日本語教師がまだまだ多いのが現状であります。本教材は、中高校のための『日語教学大綱』（中国国家教育部発行）や日本語教科書（中国人民教育出版社発行）を踏まえ、かつ 6 回の研修会に参加した延べ 471 名の中高校の日本語教師と日本語教研員からの意見も反映させながら、日本語教科書の教師指導書とともに日本語教師にとって一つの拠所となることをめざしました。5 年におよぶ制作プロジェクトが終了し、この度出版の運びとなったことは大変大きな喜びであります。

本教材が、日本語教師のみならず、日本語を学んでいる漢語話者一般にも参考になれば幸甚であります。最後になりましたが、本教材が完成に漕ぎつけるまで協力の手を惜みなく差し伸べてくださった多くの日本語教育専門家の方々に、心からの感謝の意を表したいと思います。

2002 年 7 月

財団法人 国際文化フォーラム

## シリーズ刊行にあたって

第1回の中高校日本語教師研修会（1996年）では、市販の教材を使用して講義を行いました。実際に研修を行ってみて、中国の中高校の日本語教師が抱える課題を解決するためには、実情に沿った教材を作る必要があると強く感じました。そこで、第2回の研修会に向けてオリジナル教材の開発に取り組み始めました。教材は、研修生からの要望が特に強かった分野、また研修を行ったうえで特に力を入れるべきだとわかった分野にしぼって作成し、第2回研修会（1997年）でそれを初めて使用しました。その後、研修生や日本語教育関係者の意見を広く取り入れて、改訂を重ねてきました。そして、本年、「漢語話者のためのわかりやすい日本語シリーズ」として、『発音』『コミュニケーション表現』『類義表現の使い分け』『助詞の使い分け文例集』『発音指導の手引き』の5冊を発行する運びとなりました。

シリーズ①『発音』は、研修生の母語の中で大きな割合を占める漢語話者と朝鮮語話者別に解説しました。これは、発音指導は学習者の母語によって問題点や指導のポイントが異なり、教材も母語別に作成したほうが効果的だと考えたからです。

このシリーズの制作は、数年にわたるプロジェクトであり、これまで関わった制作プロジェクトメンバー全員の努力によって支えられています。また、本テキストの制作にあたっては、特に練習問題のアクセント記号及び分かち書きについて、元NHKアナウンサーであり、アクセント指導で令名の高い塩原慎次郎氏にご校閲いただきました。同氏をはじめ、知恵と力を惜しみなく貸してくださった多くの方々、編集を担当した国際文化フォーラムの千葉美由紀氏、長江春子氏、中文の編集を補助した張春暉氏に、この場を借りて心から感謝の意を表します。

このシリーズが、「研修会教材」の枠を超えて、日本語教師や日本語学習者の方々に広く読まれることを願っています。シリーズについての忌憚のないご意見、ご指導を賜りますようお願いいたします。

中国中高校日本語教師研修会教材  
制作プロジェクトメンバー代表 加納陸人

## 漢語話者のためのわかりやすい日本語シリーズ 制作プロジェクトメンバー一覧

代表 加納 陸人 文教大学助教授  
監修 水谷 修 名古屋外国語大学教授

### 漢語話者のためのわかりやすい日本語シリーズ① 『発音』(2001年版、2002年版)作成メンバー

#### 〈漢語話者対象〉

山口 敏幸 国際交流基金日本語教育専門家

#### 〈朝鮮語話者対象〉

泉 文明 龍谷大学助教授

### 『発音』(1998年版、1999年版、2000年版)作成メンバー

#### 〈漢語話者対象〉

石井 誠 「横浜・児童生徒のための  
日本語教育を考える会」メンバー

山口 敏幸 国際交流基金日本語教育専門家

#### 〈朝鮮語話者対象〉

新川以智子 名古屋大学非常勤講師

泉 文明 龍谷大学助教授

(敬称略、五十音順、下線はリーダー、所属は2001年7月現在のもの)

# 目次

はしがき .....	iii
シリーズ刊行にあたって .....	iv
制作プロジェクトメンバー一覧 .....	v
『発音』について .....	viii
調音器官の名称と調音法 .....	x

## 〈漢語・朝鮮語話者共通〉

### 第1章 韻律

第1課 拍と音節 .....	2
第2課 アクセント .....	5
第3課 イントネーション .....	17
第4課 フォーカス .....	21

## 〈漢語話者対象〉

### 第2章 母音と半母音

第1課 母音 .....	26
第2課 半母音 .....	29

### 第3章 子音

第1課 有声音と無声音 .....	32
第2課 ら・だ・な行の子音 .....	35
第3課 拗音 .....	38

### 第4章 特殊音

第1課 長音 .....	42
第2課 撥音 .....	45
第3課 促音 .....	49

**第5章 音変化**

第1課 母音の無声化 .....	52
第2課 鼻音化 .....	55

**〈朝鮮語話者対象〉****第2章 母音と半母音**

第1課 母音 .....	60
第2課 半母音 .....	63

**第3章 子音**

第1課 有声音と無声音 .....	68
第2課 平音・激音・濃音との比較 .....	71
第3課 語頭の子音 .....	73
第4課 語中の子音 .....	75
第5課 「つ」の音 .....	78
第6課 「ざ・ず・ぜ・ぞ」の音 .....	80
第7課 拗音 .....	82

**第4章 特殊音**

第1課 長音 .....	86
第2課 撥音 .....	88
第3課 促音 .....	91

**第5章 音変化**

第1課 母音の無声化 .....	96
第2課 鼻音化 .....	99
第3課 連音上の問題 .....	102

解答 .....	104
----------	-----

漢字仮名まじり表記 .....	111
-----------------	-----

## 『発音』について

外国語を学ぶ場合、母語の干渉を強く受けることがよく知られています。これは、学習者が自分の母語の音声構造を背景として発音を把握してしまうからだと考えられます。漢語話者や朝鮮語話者が日本語を学ぶ場合にも、母語である漢語や朝鮮語の音声の特徴が日本語の発音に現れてしまうことが多いようです。したがって、日本語の音声と学習者の母語の音声について比較することが望まれます。学習者は日本語の音と母語の音との違いや類似点を意識することでその日本語の音を習得できることが多々あるからです。また、学習者の母語にない日本語の音であれば、新しい音として認識させることが大切です。このような考え方から、本テキストは、日本語と漢語、日本語と朝鮮語の比較の視点を取り入れて作成しました。

### 本テキストの構成

本テキストは、第1章「韻律」、第2章「母音と半母音」、第3章「子音」、第4章「特殊音」、第5章「音変化」から構成されています。

第1章は、漢語話者と朝鮮語話者の共通の章です。その他の章は、漢語話者対象と朝鮮語話者対象別に解説しています。漢語話者対象と朝鮮語話者対象の章構成は同じですが、対応する各章で扱う項目には多少違いがあります。これは、学習者の母語によって問題点が異なるということを特に重視した結果です。

### 本テキストの使用上の留意点

本テキストでは、「漢語話者」は「汉语」を母語とする日本語学習者を指します。「朝鮮語話者」は言語学的に「韓国朝鮮語」と呼ばれる言語を母語とする日本語学習者を指します。ただし、中国の「朝鮮族」という言葉にならって「韓国朝鮮語」のことをここでは単に「朝鮮語」とします。また、ここで言う「日本語」は日本語の共通語を指します。

本テキストを使用する際は、以下の点に留意してください。

#### 1. アクセントの表記について

日本語のアクセントは、音の高低によって表され、単語の意味を表すだけでなく、文法的構造をも表し、韻律の中では特に重要な項目です。そのため、アクセント項目の練習問題の一部を除いてすべての練習問題にアクセント記号（ˉ）を付けまし

た。これは、日本語のアクセントで特に重要なアクセントの下がり目、つまりアクセント核を表すものです。アクセント核は『日本語発音アクセント辞典 新版』(1998年 NHK 放送文化研究所)に準拠しますが、いわゆる「揺れている」ものについては、現在、より一般化していると判断されるものを採用しています。記号での表示はしていませんが、日本語のアクセントは単語の1拍目の高さで2拍目の高さが必ず違うということもあらかじめ確認しておいてください。ただし、第1章「韻律」の中の「アクセント」では、拍と拍の高低関係を○●で表示しています。●は活用語尾や付属語を表します。

## 2. イントネーションの表記について

第1章「韻律」の中の「イントネーション」では、文末イントネーションをノで表しています。

## 3. フォーカス表記について

第1章「韻律」の中の「フォーカス」では、フォーカスする部分に下線を引いて示しています。

## 4. 練習問題について

練習問題は発音と聞き取りに分かれています。その割合は項目によって異なります。特に、発音よりも聞き取りに問題が起きやすい項目については、聞き取りの練習問題が多くなっています。聞き取りの練習問題は、聞いた発音と同じものを選ぶものと聞いた内容を書き取るもの〔听写〕に分かれています。練習問題の単語はできるだけ有意味語を使っていますが、聞いた発音と同じものを選ぶという聞き取りの練習問題では、音環境をつくるために、無意味語も若干入っています。練習問題の文は、音がわかるように仮名で表記し、アクセント記号を付けています。文の意味については、巻末の漢字仮名まじり表記を参照して下さい。

## 5. 巻頭資料について

巻頭には、声道断面図と日本語の音の調音法を掲載しています。声道断面図を見ながら調音法を確認することができます。また、各調音点とそれによって作り出す音の呼び方も覚えておくと、より分析的で具体的な発音の知識が身につくでしょう。

## 6. その他の表記について

単語や文は、仮名書き、仮名分かち書き、漢字仮名交じりの三種類を必要に応じて使い分けています。漢字の読みや意味や注釈は〔 〕で、音のアルファベット表記は[ ]で、省略できる語句は( )でそれぞれくくっています。

## 調音器官の名称と調音法

人間の肺から出た空気〔呼気〕は気管を通して口や鼻から外へ出て行きますが、私たちはその空気を利用してさまざまな音声を作っています。これを調音といいま  
す。日本語の調音の際に使用される器官の名称と調音の方法及び具体例を以下に示  
しますので、図を見ながら確認してください。

調音器官	調音法	音の例
両唇	両方の唇を合わせる、あるいは	ま行、ぱ行、ば行の子音、「ふ」
歯茎	歯の裏の盛り上がった部分に舌 の前の部分をあてる、あるいは 近づける	さ行、ざ行、た行、だ行、な 行、ら行。ただし、「し」「じ (ぢ)」「ち」「に」は少し後ろ寄
硬口蓋	上顎の真ん中から前寄りの硬い	「ひ」
軟口蓋	上顎の真ん中から後ろの軟らか	か行、が行、が行鼻濁音
口蓋垂	上顎の一番奥の部分に舌の奥の	語末の「ん」
声門	気管の入り口の部分で作る	「は」「へ」「ほ」

### 声道断面図



作図 山口敏幸



## 第1課

## 拍と音節

日本人がリズムの基本として考えるのは「拍」です。1拍は仮名1字〔ただし、拗音は2字〕にあたり、どれも時間的にほぼ同じ長さです。この「拍」に対して「音節」という言葉があります。「音節」とは、母音を中心とした音のまとまりのことで、例えば、「はじめまして」「天安門〔てんあんもん〕」は拍数としてはどちらも6拍ですが、音節数から見ると、前者が6音節であるのに対し、後者は3音節とされます。つまり、音のまとまりとして見た場合、「て」と「ん」、「あ」と「ん」、「も」と「ん」の間には切れ目が感じられず、それぞれ一つの音節と考えられるのです。一般に、長音〔ー〕、促音〔っ〕、撥音〔ん〕は単独で音節を作ることではなく、前の音といっしょになって一つの音節を作ります。長音、促音、撥音を含む音節を長音節、含まない音節を短音節と呼ぶことがあります。

さらに、上述のように、日本人は「拍」をリズムの基本と考えますが、実際に文を発音する場合には、短音節なら二つ、長音節なら一つ、つまり2拍をひとまとまりとして調子をとる傾向があります。例えば「私は日本語の勉強が好きです」という文を自然な調子で発音すると、普通「わた／しは／に／ほん／ごの／べん／きょう／が／すき／です」のように音をまとめながら発音します。「にほんごの」が「にほ／んご／の」とならないのは、「ほん」が音のまとまりとして分けにくい長音節であるためです。また、「が」が単独でひとまとまりとなっているのは、その直後に意味的な区切

りがあるためです。

漢語や朝鮮語には音を同じ長さに区切る拍の感覚はありません。音節については、日本語と同様に母音を中心とした音のまとまりとしてとらえます。例えば「天安門」は、漢語では [tian] [an] [men]、朝鮮語では [천] [안] [문] と、それぞれ三つの音節に区切ります。

## 練習問題

### 1. 発音してみましょう。

#### 日本語の音

	あ段	い段	う段	え段	お段
あ行	あ	い	う	え	お
か行	か	き	く	け	こ
さ行	さ	し	す	せ	そ
た行	た	ち	つ	て	と
な行	な	に	ぬ	ね	の
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ
ま行	ま	み	む	め	も
や行	や		ゆ		よ
ら行	ら	り	る	れ	ろ
わ行	わ				
が行	が	ぎ	ぐ	げ	ご
か°行*	か°	き°	く°	け°	こ°
ざ行	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
だ行	だ	ぢ	づ	で	ど
ば行	ば	び	ぶ	べ	ぼ
ぱ行	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ

\*か°行は鼻濁音を表していますが、実際の表記にはありません。

## 2. 発音してみましよう。

## 拗音

	あ段	い段	う段	え段	お段
きゃ行	きゃ		きゅ		きょ
しゃ行	しゃ		しゅ		しょ
ちゃ行	ちゃ		ちゅ		ちょ
にゃ行	にゃ		にゅ		にょ
ひゃ行	ひゃ		ひゅ		ひょ
みゃ行	みゃ		みゅ		みょ
りゃ行	りゃ		りゅ		りょ
ぎゃ行	ぎゃ		ぎゅ		ぎょ
き <sup>◦</sup> ゃ行*	き <sup>◦</sup> ゃ		き <sup>◦</sup> ゅ		き <sup>◦</sup> ょ
じゃ、ぢゃ行	じゃ、ぢゃ		じゅ、ぢゅ		じょ、ぢょ
びゃ行	びゃ		びゅ		びょ
びゃ行	びゃ		びゅ		びょ

\*き<sup>◦</sup>ゃ行は鼻濁音を表していますが、実際の表記にはありません。

## 3. 発音してみましよう。

## 特殊音

撥音	ん	例：かばん、インド
促音	っ	例：きって、ラッパ
長音	ー	例：おとうさん、コート

## 第2課

# アクセント

アクセントというのは、語や文節において社会的、慣習的に決まっている音の高低あるいは強弱の関係のことです。アクセントの配置によって、意味の違いを認識することができます。日本語のアクセントは高低型です。日本語のアクセントを習得するには、音の高低の推移についての感覚を身につける必要があります。

漢語の「四声」も高低アクセントであるといえます。しかし、漢語の四声は音節〔漢字1字〕の中での音の上がり下がりによって決まるのに対して、日本語のアクセントは拍の間の高低によって決まるという大きな違いがあります。

朝鮮語においては、文節末を少し上げる場合もありますが、アクセントの高低によって語を弁別してはいません。また、朝鮮語のアクセントは平板型ですが、日本語は語ごとにアクセントが決まっているので、気をつけてください。

## 1. 文節のアクセント

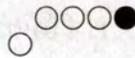
文節レベル、つまり単語に助詞などの付属語が付いた形における日本語のアクセントの大きな特徴は、1拍目と2拍目の高さが必ず違うという点、アクセントの下がり目、つまりアクセントの核は一カ所だけであるという点です。

## 1. 名詞文節のアクセント

名詞文節のアクセントは、以下の四つの型に分けられます。

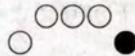
- ① 平板型：語の最初から助詞などの付属語までアクセント核がない

例：おじさんが



- ② 尾高型：語の最後の拍にアクセント核がある

例：おとうと<sup>↑</sup>が



- ③ 中高型：語の途中の拍にアクセント核がある

例：せんせい<sup>↑</sup>が



- ④ 頭高型：語の最初の拍にアクセント核がある

例：お<sup>↑</sup>くさんが



上の四つのアクセント型は単語の拍数及び品詞によってアクセントの現れ方が異なります。拍数については、4拍語の単語では平板型〔例えば「ともだち」〕が最も多く、尾高型〔例えば「いもうと<sup>↑</sup>」〕が最も少ないといわれています。ちなみに、日本語では4拍語の単語が最も多いとされています。

品詞別に見ると、拍数が少ない名詞では平板型と

頭高型〔例えば「あ<sup>1</sup>いさつ<sup>2</sup>〕、拍数が多い名詞では平板型と中高型〔後ろから3拍目に核があるもの。例えば「の<sup>1</sup>みもの<sup>2</sup>〕が最も多いです。また、動詞〔終止形〕はほとんどが中高型〔後ろから2拍目に核があるもの。例えば「た<sup>1</sup>べる<sup>2</sup>〕と平板型、形容詞もほとんど中高型〔後ろから2拍目に核があるもの。例えば「う<sup>1</sup>れしい<sup>2</sup>〕と平板型〔30語のみ〕だといわれています。

漢語話者は、特に3拍以上の平板型や尾高型を発音する場合、音を高く保つことができず、途中で落としてしまう傾向があります。これは、音の上がり下がり  
の激しい母語の影響だろうと思われませんが、いずれにしても、この二つの型を重点的に練習する必要があります。

## 2. 活用語文節の アクセント

活用語〔動詞・形容詞類〕の文節には、あとに付く  
付属語の種類によって以下のようなアクセント結合の  
大まかな傾向があります。

### ① 付属語のアクセントに統一されるもの

「ます」「ません」「らしい」「たい」など

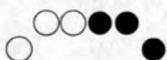
例：あそび<sup>1</sup>ます



たべ<sup>1</sup>ます



とおいら<sup>1</sup>しい



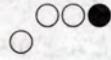
いたいら<sup>1</sup>しい



## ② 活用語のアクセントに統一されるもの

「と」「ほど」「た(だ)」「て(で)」など

例：あそぶと



たべると



とおいほど

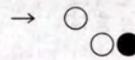


いたいほど

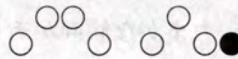


②のルールには例外があります。まず、一段活用動詞の3拍語、4拍語に「て」「た」が続く時は、アクセント核が一つ前に移動します。

例：たべると → たべて おきる → おきた



おぼえる → おぼえて

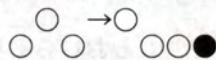


しらべると → しらべた



また、3拍語の中高型形容詞に「くて」「くない」「かった」「ければ」が続く時も、アクセント核が一つ前に移動し、頭高型アクセントになります。ちなみに頭高型に変わる4拍語は「大きい」だけです。

例：あおい → あおくて おおきい → おおきかった



③ 活用語が平板型の場合は付属語のアクセントに統一され、平板型以外の場合は活用語のアクセントに統一されるもの

「だろう」「ようだ」「そうだ〔伝聞〕」など

例：あそぶ<sup>1</sup>だ<sup>2</sup>ら<sup>3</sup>う      たべ<sup>1</sup>るだ<sup>2</sup>ら<sup>3</sup>う



とおい<sup>1</sup>だ<sup>2</sup>ら<sup>3</sup>う      いた<sup>1</sup>い<sup>2</sup>だ<sup>3</sup>ら<sup>4</sup>う



④ 活用語が平板型の場合は活用語のアクセントに統一され、平板型以外の場合は付属語のアクセントに統一されるもの

「(ら)れる」「(さ)せる」「ながら」「そうだ〔様態〕」など

例：あそ<sup>1</sup>ば<sup>2</sup>せ<sup>3</sup>る      たべ<sup>1</sup>さ<sup>2</sup>せ<sup>3</sup>る



とお<sup>1</sup>そ<sup>2</sup>う<sup>3</sup>だ      いた<sup>1</sup>そ<sup>2</sup>う<sup>3</sup>だ



## 練習問題

1. 次の言葉を発音してください。

- |                           |                           |                           |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1. かわる<br>○ ○ ○           | 2. あるく<br>○ ○ ○           | 3. かえる<br>○ ○ ○           |
| 4. かわります<br>○ ○ ○ ● ●     | 5. あるきます<br>○ ○ ○ ● ●     | 6. かえります<br>○ ○ ○ ● ●     |
| 7. かわって<br>○ ○ ○ ●        | 8. あるいて<br>○ ○ ○ ●        | 9. かえって<br>○ ○ ○ ●        |
| 10. もどりそうだ<br>○ ○ ○ ● ● ● | 11. あるくそうだ<br>○ ○ ○ ● ● ● | 12. かえるそうだ<br>○ ○ ○ ● ● ● |
| 13. かわらせる<br>○ ○ ○ ● ●    | 14. あるかせる<br>○ ○ ○ ● ●    | 15. かえらせる<br>○ ○ ○ ● ●    |

2. 発音を聞いて、それと同じものを次の a、b から選んでください。

- |             |          |                |            |
|-------------|----------|----------------|------------|
| 1. (a) あめ   | (b) あめ   | 2. (a) きる      | (b) きる     |
| 3. (a) あつい  | (b) あつい  | 4. (a) いぜん     | (b) いぜん    |
| 5. (a) かえる  | (b) かえる  | 6. (a) じしん     | (b) じしん    |
| 7. (a) ようい  | (b) ようい  | 8. (a) こうかい    | (b) こうかい   |
| 9. (a) こうこう | (b) こうこう | 10. (a) きゅうしゅう | (b) きゅうしゅう |

## 3. 次の文を声に出して読んでください。

1. にわには にわ にわとりが います。
2. はらさんは さいきん すこし はらが できましたね。
3. そんなに あつい ふくを きていると あついでしょう。
4. はしの はしに たちどまって かわもを みている ひとが いました。
5. きりの きに きりで あなを あけます。
6. うちの そばの そばやへ そばを たべに いきませんか。
7. いしゃから とうぶんのあいだ とうぶんを ひかえなさいと いわれました。
8. たばこが すいたいので ちよつと ライターを かしてください。
9. この ほんは よめば よむほど おもしろく なります。
10. きょうは いえに かえって すぐ しゅくだいを してから あそびに きました。
11. オウさんは あしたの かいぎに さんかするそうですが チョウさんは さんかしないそうです。
12. チンさんは まるで しんだように ねています。
13. テレビを みながら ごはんを たべては いけません。
14. さくぶんを せんせいに ほめられて とても うれしいです。
15. パクさんが さつき なきながら あるいていましたよ。

## 2. 複合語のアクセント

単語が結合して複合語を作る場合、あとに付く語の種類

によって以下のようなアクセント規則があります。

### 1. あとの語が1～2拍の場合

あとの語が1～2拍の場合、アクセントの型には次の3種類があります。

#### ① 複合語全体で平板型アクセントになるもの

「語〔ご〕」「化〔か〕」「家〔か〕」「的〔てき〕」「行き〔ゆき〕」「性〔せい〕」「場〔じょう〕」「中〔ちゅう／じゅう〕」など

例：にほんご      きんだいか      せかいてき

○ ○ ○ ●      ○ ○ ○ ○ ●      ○ ○ ○ ● ●

#### ② 前の語の最後の拍にアクセント核が来るもの

「市〔し〕」「県〔けん〕」「省〔しょう〕」「人〔じん〕」「駅〔えき〕」「会〔かい〕」「学〔がく〕」など

例：こうべし      ちゅうごくじん

○ ○ ○ ●      ○ ○ ○ ○ ● ●

きょうとえき

○ ○ ○ ● ●

#### ③ あとの語のアクセントに統一されるもの

「半〔はん〕」「雲〔くも〕」「声〔こえ〕」「都市〔とし〕」「主義〔しゅぎ〕」など

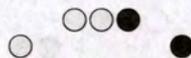
例：にじほん



ゆうこうとし



しゃかいしゅぎ



## 2. あとの語が3拍以上の 場合

あとの語が3拍以上の場合、アクセントの型には次の2種類があります。

①あとの語〔平板型か尾高型〕の最初の拍にアクセント核が来るもの

「会社〔かいしゃ〕」「学校〔がっこう〕」「銀行〔ぎんこう〕」「公園〔こうえん〕」「時代〔じだい〕」「新聞〔しんぶん〕」など

例：かぶしきがいしゃ



ちゅうごくぎんこう



まいにちしんぶん



②あとの語〔頭高型か中高型〕のアクセント型に統一されるもの

「親子〔おやこ〕」「制度〔せいど〕」「大臣〔だいじん〕」「市役所〔しやくしょ〕」「物語〔ものがたり〕」など

例：しゃかいせいど



もんぶだいじん



こうべしやくしよ

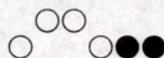


☞ 特殊拍〔撥音、促音、長音〕や無声化母音にはアクセント核は現れにくく、普通はアクセント核が1拍前にずれます。

例：ペキンえき



ながさきけん

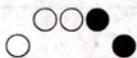


さんかっけい



また、まれに1拍後ろにずれることもあります。

にほんじん



## 練習問題

## 1. 次の言葉を発音してください。

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 1. ちゅうごく／ちゅうごくご       | 2. ペキン／ペキンゆき      |
| 3. おんがく／おんがくか         | 4. くうぎ／くうきちゅう     |
| 5. しゃかい／しゃかいせい        | 6. しみなり／しみなりぐも    |
| 7. なごや／なごやじょう         | 8. がくせい／がくせいじだい   |
| 9. にゅうがく／にゅうがくしけん     | 10. にほんご／にほんごがっこう |
| 11. スポーツ／スポーツせんしゅ     | 12. コピー／コピーき      |
| 13. ハム／ハムサンド          | 14. ポスター／ポスターづくり  |
| 15. エレベーター／エレベーターがいしゃ | 16. シャワー／シャワールーム  |
| 17. しょうらい／しょうらいてき     | 18. げんだい／げんだいてき   |
| 19. げんご／げんごしゅうかん      | 20. じこ／じこしょうかい    |

## 2. 発音を聞いて、アクセント (核) 記号を付けてください (平板型は不要)。

- |               |            |              |
|---------------|------------|--------------|
| 1. しょうせつか     | 2. にほんじん   | 3. かほくしょう    |
| 4. なみだごえ      | 5. せかいじゅう  | 6. がいこくじん    |
| 7. ほうそうきよく    | 8. ほうけんじだい | 9. しょうけんがいしゃ |
| 10. ちゅうおうこうえん |            |              |

## 3. 次の文を声に出して読んでください。

1. にほんには かんこくじんや ちゅうごくじんなど たくさんの がいこくじんが くらしています。
2. じゅうにじほんに さんトンほんの にもつが トラックびんで とどきました。
3. こうこうせいの にほんごの はっぴょうかいが ぶんかかいかんで ひらかれます。

4. げんじものがたりは へいあんじだいの だいひょうてきな  
ぶんがくさくひんです。
5. ちゅうごくせいふが すすめている しゃかいしゆぎに おける  
あたらしい けいざいせいどは せかいじゅうの ちゅうもくを  
あつめています。
6. がくせいたちが およぎに いくのは おおきな プールのある  
たいいくかいかんです。
7. じぶんの なんばいもある おおきな いぬに こいぬが  
ほえかかっていた。
8. きょうせいかつが ながくなるにつれて きょうしの よろこびが  
わかってきました。
9. たしか はるやすみが おわって にさんにち たった どうぶの  
ごごに オウくんを みかけました。
10. いちねんまえに としんから くるまで いちじかんほどの  
ところにある いっこだてを てにいれました。
11. テレビきょくは けいざいニュースや うたばんぐみ  
スポーツちゅうけいなどを ぜんこくほうそうしている。
12. いぜん つとめた でんきがいしゃに にほんじんが いたのが  
きっかけで にほんごを ならいはじめました。
13. りょうしんが かいがいしゅっちょうちゅうなので ひろい いえに  
ひとりきりです。
14. あたらしい きょうかしよようの テストもんだいを つくっています。
15. がくせいだいの ゆうじんは ひとりっこなので  
きょうだいげんかが できない。

第3課

イントネーション

イントネーションとは、文における音の高低の関係をいいます。発話中に音の高さを変化させることによって意味を持たせる機能のことです。イントネーションには、社会的、慣習的に確立されたものと、人間の心理に共通して表出されるものがあります。例えば、「食事に行きます」という文は、文末を上昇させれば疑問文になるし、逆に下降させれば意志や行動を表明することになります。なお、日本語のイントネーションは、文全体にかかるものと文末にかかるものの二つに分けられます。原則として、イントネーションはアクセント核の位置を変化させないということに留意しましょう。

漢語話者対象

朝鮮語話者対象

1. 文全体にかかるイントネーション

文全体にかかるイントネーションは、文の構造、特に意味的な修飾関係と関連しています。例えば、「王さんと張さんの娘が結婚した」という文には二つの意味があると考えられますが、意味の違いによって、それぞれイントネーションが異なります。意味は、①「王さんと張さんは夫婦で、その娘が誰かと結婚した」、②「王さんと、張さんの娘が結婚し、張さんは王さんの義理の親になった」が考えられます。①の場合、「王さんと」が「張さんの」を直接修飾しているので、「王さんと」のあとの「張さんの」は低くつながります。②では、「王さんと」と「張さん」は修飾関係にないので、

「王さんと」のあとの「張さんの」は、普通はやや高めにつながり、同時にポーズが入ります。また、②の意味の文を書く時は、「王さんと、張さんの娘が結婚した」のように、「王さんと」のあとに読点を打ちます。

このように、次の文節との間に意味的な修飾関係があればそのまま低くつながり、意味的な修飾関係がなければやや高めにつながる傾向があります。

## 2. 文末にかかるイントネーション

文末のイントネーションは話し手の感情と関連しています。文末のイントネーションは次の三つに分けられます。

まず、質問や確認などを表す場合は、普通上昇します。例えば、「明日の会議には朴さんも参加しますかノ」という質問を表す文や「明日の会議には朴さんも参加しますねノ」という確認を表す文は、普通文末を上げて発音します。また、問いかけの場合、助詞の「か」を付けなくても、「あすの会議には朴さんも参加しますノ」と文末を上げれば、それだけで問いかけの意味を表すことができます。

次に、納得や失望などを表す場合は、普通下降します。例えば、「彼女は来ませんでしたかノ」という質問を表す文を「彼女は来ませんでしたか、」のように文末を下げて発音すれば、「来なかった」ことに対する納得した気持ちや失望を表すようになります。

最後に、断定や命令などを表す場合は、普通上げません。例えば、「早く宿題をやりなさい」という命令文

や「私が行きます」のような断言の文では、普通文末をまっすぐ伸ばして発音します。また、「これ、代わりにやって」という「て形」の依頼文の場合は、普通上昇しますが、文末を上げないでまっすぐ伸ばすと、命令するような口調になってしまいますので、注意が必要です。

## 練習問題

### 1. 次の文を声に出して読んでください。

1. (a) リュウさんと カクさんの にほんごの せんせいは、  
おおさかしゅっしんです。  
(b) リュウさんと、リュウさんの おとうさんは よく にています。
2. (a) きのは、どうぶつえんと ゆうえんちへ あそびに いきました。  
(b) きのは ともだちと、ゆうえんちへ あそびに いきました。
3. (a) きのは たいいんした キムさんと あいました。  
(b) きのは、たいいんした キムさんと あいました。
4. (a) せんせいは、いそいで かえろうとする こどもたちを  
よびとめました。  
(b) せんせいは いそいで、かえろうとする こどもたちを  
よびとめました。
5. (a) かれは、なきながら はしりぎっていく こいびとを おいかけた。  
(b) かれは なきながら、はしりぎっていく こいびとを おいかけた。

### 2. 次の文を声に出して読んでください。

1. 「あしたの かいぎには さんかしますか？」  
「はい。かならず さんかします」
2. 〈親が子供に〉「はやく へやを かたづけなさい」

3. 「カバンは ここに おいたんですねノ」  
「はい。たしかに この ばしょに おきました」
4. 「しけんの けっかは どうだったのノ」  
「だめだったよ」  
「そう。だめだったの」
5. 「あした えいがを みに いかないノ」  
「えっ、あしたノ。あしたは ちよつと」
6. 「ビールにするノ。ワインにするノ」  
「ビールにする」
7. 「リュウさんが かいしゃを やめる そうですねノ」  
「えっ、リュウさんが やめるノ。 そうですねか」
8. 「あした あめが ふったら どうしましょうか」  
「そうですね。そのときは やめましょう」
9. 「こんどの パーティー、キンさんも いきますよねノ」  
「いきたいけど、ちよつと ようじが あるんですよ」
10. 「だいがくに いこうか しゅうしょくしようか  
まよっているんだけど」  
「じゃあ、せんせいに そうだんしてみたらノ」

第4課

フォーカス

文の特定の部分を取り立てて伝えたい時、普通は音を高くすると同時に、強く、そして明瞭に発音します。この取り立てた特定の部分をフォーカス〔焦点〕といいます。

- 例1 劉さんには子供が3人もいるそうです。  
例2 こんな暑い日はビールが飲みたいですね。  
例3 金さんはどの人ですか。

例1～3では、普通下線の部分をやや際立てて言うと思われます。例1では、劉さんを話題にしていますが、単に子供がいるということではなく、また、1人ではなく3人もいるということに話の要点がありますから、ここにフォーカスが置かれます。例2も同様に、飲みたいのは水やジュースではなく、ビールだということを明確にするため、下線部にフォーカスが置かれます。例3は、疑問詞には普通フォーカスが置かれることの一例です。

- 例4 昨日、女の人が李さんを訪ねてきました。

例4は先行文脈がなければ、普通どこにもフォーカスは置かれません。「文全体にかかるイントネーション(〔第3課〕17、18頁参照)」は存在しますが、フォーカスを置くと不自然になるか、特別の意図が込められることとなります。ただし、例4に以下のように何らかの

先行文脈があれば、それに応じてフォーカスが置かれま  
す。その場合、すでに知っていること、つまり旧情報  
は省略されることが多いです。例5～7では、( )  
の中が旧情報にあたります。

例5 「昨日誰が李さんを訪ねてきましたか」

「(昨日) 女の人が(李さんを)訪ねてきました」

例6 「昨日女の人が誰を訪ねてきましたか」

「(昨日) (女の人が) 李さんを訪ねてきました」

例7 「いつ女の人が李さんを訪ねてきましたか」

「昨日 (女の人が) (李さんを)訪ねてきました」

## 練習問題

### 1. 次の文を声に出して読んでください。

1. 「きのうは なにを しましたか」

「(きのうは) サッカーを しました」

2. 「きのうは どこで サッカーを しましたか」

「(きのうは) こうえんで サッカーを しました」

3. 「きのうは だれと サッカーを しましたか」

「(きのうは) ともだちと サッカーを しました」

4. 「きのうは なんじまで サッカーを しましたか」

「(きのうは) ろくじまで サッカーを しました」

5. 「きのうは なんにんで サッカーを しましたか」

「(きのうは) はちにんで サッカーを しました」

6. どのかたが シュウさんですか。

7. あのかたは シュウさんですか。

8. ぶたにくは すぎですが ぎゅうにくは すぎじゃ ありません。

9. せんしゅう がっこうを やすんだのは にゆういんしていたからです。
10. みじかい あいだでしたが ほんとうに おせわに なりました。

2. 発音を聞いて、フォーカスが置かれている部分に下線を引いてください。

1. きのう チョウさんが こどもを つれて がっこうに やってきました。
2. きょうとへ いくのなら ひこうきより しんかんせんの ほうが べんりですよ。
3. こんどの カラオケたいかいで こうちょうせんせいが にほんの うたを うたうそうです。
4. せんしゅう シュウさんと ホテルの レストランで にほんしよくを たべました。
5. きゅうじってんは とれると おもっていたのですが ななじってんしか とれなくて とても ざんねんです。
6. ペキンでは ぼんりの ちょうじょうに のぼったあと みんなの じゅうさんりょうを みました。
7. いくら でんわを かけても つうじないので でんわきよくで しらべてもらいました。
8. ねているときに かじが おきたので パジャマを きたまま そとへ とびだしました。
9. コンビニエンスストアには たべものや のみものだけではなく くつしたや でんちまで あります。
10. おばあさんは まごと でかけるのが なによりも たのしいと いいます。





## 第1課

## 母音

日本語の母音は「あ、い、う、え、お」の五つです。漢語にも日本語と似た母音があります〔例えば「阿 [a]」「一 [yi]」「屋 [wu]」「噢 [o]」など〕が、発音の仕方が少し違います。

「い」の発音は漢語の「一」の発音とほとんど同じですが、「い」は漢語の「一」ほど唇を横に強く引きません。したがって、「い」を発音する時は唇を横に引きすぎないようにしてください。「う」の発音は特に注意が必要です。漢語の「屋」と違って、唇を丸めず、舌はやや前寄りで発音します。また、例えば「十 [じゅう]」「中 [ちゅう]」など、子音とつながった「う」の音を発音する時に、漢語の「于 [yu]」のような発音になる人も多いようですから注意してください。「え」の発音については、漢語の「俄 [e]」のような「あいまい音」や、「埃 [ei]」のような「二重母音」にならないよう注意してください。

日本語のリズムの基本は拍です。1拍は仮名1字〔拗音は2字〕にあたり、どれも長さはほぼ同じです。このことから、母音がつながった場合はどれもほぼ同じ長さではっきりと発音することが大事です。長さがひとつひとつ違ったり、あいまいな発音にならないよう注意してください。不自然な音になりやすいのは、特に次のような場合です。

①「愛 [あい]」「追う [おう]」など、漢語の二重母音（「愛 [ai]」「欧 [ou]」）と同じ配列になった時

② 「年 [ねん]」「天 [てん]」のように漢語の「年 [nian]」「天 [tian]」と意味が対応し、しかも音が比較的似ている時

③ 「せん [千]」「えん [円]」「けん [県]」など、あとに「ん」の付いた語で、漢語にも似たような音（「森 [sen]」「恩 [en]」「肯 [ken]」）があるもの

## 練習問題

### 1. 次の言葉を発音してください。

- |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. あい    | 2. あお    | 3. いえ    | 4. うお    |
| 5. おい    | 6. あおい   | 7. あえん   | 8. いあん   |
| 9. いいん   | 10. いえん  | 11. イオン  | 12. おいえ  |
| 13. あいいん | 14. あいえん | 15. あいおい | 16. あおあお |
| 17. いいあい | 18. えんえん | 19. おんいん | 20. おいおい |

### 2. 発音を聞いて、それと同じものを次の a～c から選んでください。

- |              |          |          |
|--------------|----------|----------|
| 1. (a) あい    | (b) あお   | (c) あう   |
| 2. (a) いき    | (b) うき   | (c) えき   |
| 3. (a) ある    | (b) いる   | (c) える   |
| 4. (a) しき    | (b) すき   | (c) せき   |
| 5. (a) こい    | (b) こう   | (c) こえ   |
| 6. (a) あえん   | (b) いあん  | (c) いえん  |
| 7. (a) かんり   | (b) きんり  | (c) けんり  |
| 8. (a) かいけん  | (b) けいかん | (c) けいけん |
| 9. (a) かいさつ  | (b) かいせつ | (c) けいそつ |
| 10. (a) はいさつ | (b) はいせつ | (c) へいそつ |

## 3. 次の文を声に出して読んでください。

1. あおは あいより いでて あいより あおし。
2. いいんたちは えんえんと ぎろんを つづけました。
3. おかねを ためて よんせんまんえんの いえを かいました。
4. ウェイトレスが ウイスキーを もってきました。
5. この おんせんは いおうの においが します。
6. おおさかに いる おねえさんと サッカーの しあいを おうえんしに いきます。
7. こうえんで おいに あい あいさつされました。
8. ははおやに おあやまりなさい。
9. よんわの うが あゆを おいあうのを ふねのうえから けんぶつしました。
10. あわてていて うんてんめんきょしょうを いえに おいてきてしまいました。
11. いあんりょこうで おいしい かわうおりょうりを たべました。
12. ういういしい ふたりは きょうかいで えいえんの あいを ちかった。
13. おうの あとを ついで おういに ついた おうじを くにじゅうの ひとが いわいました。
14. きんえんして さんねんですが たばこの せんでんを みると つい すいたくなります。
15. にせんねんを きねんして たくさんの ひとびとが てんあんもんに あつまりました。

## 第2課

## 半母音

「や」「ゆ」「よ」は「や行」の半母音に母音「あ」「う」「お」が付いた音です。「わ」は「わ行」の半母音に母音「あ」が付いた音です。「や行」の半母音は摩擦が弱く、母音の「い」にかなり近い音です。また、「わ行」の半母音は唇を丸めずに発音するので、母音の「う」に似た音になります。母音の場合と同じように、漢語の似たような音、例えば「压 [ya]」や「蛙 [wa]」などの影響で唇を引きすぎたり、丸めすぎたりしないように気をつけてください。

- ☞ 実際の会話では、一つの単語の中で1拍目と2拍目に母音が続くような場合、その言いくさを柔らげるため、半母音を「わたり音」、つまり「橋渡しの音」として母音の間にいれて発音することがあります。例えば、「試合 [しあい]」を「しやい」と発音したり、「場合 [ばあい]」を「ばわい」と発音したりします。しかし、教育現場では、ふだんからできるだけきちんとした発音をするよう心がけてください。

### 練習問題

1. 次の言葉を発音してください。

- |           |            |           |            |
|-----------|------------|-----------|------------|
| 1. えいよう   | 2. かゆい     | 3. うらやましい | 4. やさしい    |
| 5. ゆうびん   | 6. ヨット     | 7. かいわ    | 8. ワイン     |
| 9. いやがる   | 10. つゆいり   | 11. よくよう  | 12. ゆうやけ   |
| 13. わるよい  | 14. わずらわしい | 15. よゆう   | 16. ゆゆしい   |
| 17. ゆわかしき | 18. やわらかい  | 19. よやく   | 20. よわよわしい |

## 2. 発音を聞いて、それと同じものを次の a、b から選んでください。

1. (a) よじ (b) やじ      2. (a) かいやく (b) かいあく
3. (a) せんよう (b) せんおう      4. (a) しんゆう (b) しんよう
5. (a) ゆき (b) うき      6. (a) われる (b) あれる
7. (a) ゆうわく (b) ゆうやく      8. (a) ゆうやく (b) ようやく
9. (a) やせい (b) わせい
10. (a) ことわるごとに (b) ことあるごとに

## 3. 次の文を声に出して読んでください。

1. きんゆうぎょうかいでは きんようびの ごごは ゆったり できない。
2. さいわい さいあいの つまは けがもなく ぶじだった。
3. わるいと おもったら はやく あやまったほうが いいですよ。
4. せんせいが かわることは せいとの しんように かわるので よくないです。
5. つうやくは ほんやくと ちがって はやさが ようきゅうされます。
6. にほんは げんゆを ゆにゆうして しょうひんに かこうしています。
7. みんなで ちからを あわせて ようやく ゆうしょうできました。
8. つゆに になると しょうゆのようなものまで だめに なります。
9. しんゆうと よべる ゆうじんを もっと ふやしたいです。
10. わがやの ゆうしょくは わしょくより ようしょくのほうが おおいです。
11. ゆあがりに ゆかたを きて えんがわで ゆうずみを しました。
12. ゆわかしきで おゆを わかしてください。
13. スーパーの やさいは やおやより やすいです。
14. かれが やっと わたしに こんやくゆびわを くれました。
15. よやくじかんは よじですが よゆうを もって すこし はやめに いきましょう。



## 第1課

## 有声音と無声音

日本語の「か、さ、た、は、ぱ」行の子音を発音する時、声帯は普通振動しません。音声学では、この声帯の振動しない音を「無声音」といいます。これに対して、声帯が振動するその他の子音及び母音、半母音を「有声音」と呼びます。日本語では有声音か無声音かで意味が変わってきます。例えば、「てんき」と「でんき」では意味が異なります。また、「振り」「空振り」のように、同じ意味でありながら、無声音から有声音に変化するものも少なくありません。はっきり区別して発音する必要があります。

有声音か無声音かによる意味の違いがある日本語に対して、漢語は基本的に「有声音・無声音」による意味の違いはありません。漢語は息が強く出るか出ないか、つまり有気音か無気音かによる意味の違いがあります。日本語には「有気音・無気音」による意味の違いはありません。

漢語話者は一般に、語頭の有声音「が、ざ、だ、ば」行を無声音「か、さ、た、ぱ」行に、語中の無声音を有声音に誤って発音することが多いようです。特に語頭の「じ」「ず」と語中の「ち」「つ」に間違いが目立ちます。例えば、「実現 [じつげん]」の「じ」を「ち」に、「勤務地 [きんむち]」の「ち」を「じ」と誤って発音しがちです。また、聞き取りの際にも同様の問題が生じるようですから、有声音と無声音の区別には十分注意する必要があります。

語頭の有声音はできるだけ息を押さえて、声帯を震

わせて発音できるよう繰り返し練習してください。漢語では「第二声」の無気音、例えば「答 [da]」などが語頭の有声音に一番近いようですから、そういう音をイメージしながら発音してみるといいかもしれません。あるいは、鼻音のあとは有声音が出やすいという現象を利用して、語頭の有声音の前に軽く「ん」の音をいれて発音すると、わりあい出やすくなるようです。また、語中の無声音は漢語の有気音を発音するつもりで、しかも息を極力抑えた音のイメージで繰り返し練習してください。この場合も、促音「っ」のあとは無声音が出やすいという現象を利用して、語中の無声音の前に軽く「っ」をいれて練習するという方法があります。

## 練習問題

### 1. 次の言葉を発音してください。

- |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. あんず   | 2. スポン   | 3. ずつう   | 4. づつき   |
| 5. あんじ   | 6. じぶん   | 7. じつわ   | 8. じちく   |
| 9. タッチ   | 10. つち   | 11. だんち  | 12. きんむち |
| 13. むっつ  | 14. むつ   | 15. おむつ  | 16. おんみつ |
| 17. ずきずき | 18. しつじつ | 19. きちじつ | 20. じつづき |

### 2. 発音を聞いて、それと同じものを次の a、b から選んでください。

- |             |          |             |          |
|-------------|----------|-------------|----------|
| 1. (a) せんぱい | (b) せんぱい | 2. (a) けんがく | (b) げんがく |
| 3. (a) きょうと | (b) きょうど | 4. (a) てんき  | (b) でんき  |
| 5. (a) たいがく | (b) だいがく | 6. (a) たんだい | (b) だんたい |
| 7. (a) かち   | (b) かじ   | 8. (a) くつ   | (b) くず   |
| 9. (a) つかい  | (b) ずかい  | 10. (a) ちち  | (b) じち   |

## 3. 次の文を声に出して読んでください。

1. てんきの いいひは でんきを けしたほうが いい。
2. がっきの とちゅうで だいがくを たいがくする ひとが だんだん  
ふえています。
3. げんだいしゃかいでは つねに けんたいかんを おぼえる ひとが  
おおい。
4. ちずで みちじゆんを かくにんして いきましよう。
5. めずらしい どうぶつを みつけたら すぐ ずかんで しらべなさい。
6. マスコミは じじつに もとづき きちんと ほうどうすべきです。
7. じぶんの いえで つくったものを じかせいと いいます。
8. ずつうが ひどいので ちんつうやくを みずで のんだ。
9. ちじは とどうふけんの じちたいの だいひょうです。
10. ゆめの じつげんに むけて どりよくを つづけてください。
11. じつぎの しげんに ごうかくしたら がっこうを  
そつぎょうできます。
12. てづつきには じついんが ひつようですから もってきてください。
13. がくせいたちに たんごを まいにち ひとつずつ おぼえさせます。
14. きねんの バッジは だいに ひとつずつ はこに 入れてあります。
15. てにもつあずかりしよで バッグを ひとつ あずけました。

第2課

ら・だ・な行の子音

「ら行」の「ら、り、る、れ、ろ」の子音は、舌先が反り返って歯茎に1回触れてすばやく離れるという音です。舌先で歯茎を軽く弾くような発音方法なので、「弾き音」と呼ばれます。漢語にも似たような子音、例えば「拉 [la]」の子音がありますが、発音方法が少し違います。漢語のほうは「側面音」と呼ばれ、舌先が歯茎にあたったあと、息が舌の両側から抜けながら舌が離れるという音です。

「ら行」の子音は「だ行」の中の「だ、で、ど」の子音や「な行」の「な、に、ぬ、ね、の」の子音に似ていますが、「ら行」の子音は舌先が反り返って歯茎にあたるのに対して、「だ行」と「な行」の子音は舌の前の部分全体が盛り上がって歯茎にあたるという違いがあります。また、「な行」は息を鼻から抜く鼻音であるという点で「だ行」と違っていています。中国の南方の人は、特に「ら行」を「な行」に間違えて発音することが多いようですから、十分注意してください。

練習問題

1. 次の言葉を発音してください。

- |             |           |             |            |
|-------------|-----------|-------------|------------|
| 1. なだれ      | 2. るりいろ   | 3. リラックス    | 4. らくだい    |
| 5. だらだら     | 6. なないろ   | 7. ならだらか    | 8. ドリル     |
| 9. ドルだか     | 10. だろなわ  | 11. のろのろ    | 12. らいねんど  |
| 13. りょうりにん  | 14. のりならず | 15. わらわれる   | 16. のらりくらり |
| 17. ろうどうりよく |           | 18. レバニラいため |            |

## 19. ロードレース

## 20. センメートルリレー

## 2. 発音を聞いて、それと同じものを次の a、b から選んでください。

- |             |          |               |           |
|-------------|----------|---------------|-----------|
| 1. (a) なな   | (b) なら   | 2. (a) はな     | (b) はら    |
| 3. (a) だく   | (b) らく   | 4. (a) はねる    | (b) はれる   |
| 5. (a) ゆでる  | (b) ゆれる  | 6. (a) いない    | (b) いらい   |
| 7. (a) どうじん | (b) ろうじん | 8. (a) せんねん   | (b) せんれん  |
| 9. (a) だんぼう | (b) らんぼう | 10. (a) のうりよく | (b) ろうりよく |

## 3. 次の文を声に出して読んでください。

- ガイドブックに だいれんの がいろじゅが きれいだとかいてありました。
- こどもの えがおを みるのは だれでも うれしいものです。
- かれは りゅうがくして いらい いちども れんらくしてこない。
- きょうは なんだか からだが だるいです。
- ひとりぐらしは なれるまでは さびしくて たまらない。
- ならうより なれろ という ことわざを しっていますか。
- シュウさんは なれない しごとに いらだっているようです。
- ねんれいが うえの ひとに あまり なれなれしく すると しつれいに なります。
- ならなら じゅうねんらいの ともだちが いますから できるだけ あんないしてもらいましょう。
- あの たなに ならんでいる フルーツの なかでは れいしと りゅうがんが すきです。
- テレビで ながれている つまらない うらないなんて しんじられない。

12. オンドルの ゆかだんぼうは ねんりょうも やすいし なにかと  
べんりだ。
13. しょうらい にほんごが ぺらぺら しゃべれるように  
がんばります。
14. どろだらけの からだを ふろで よく あらってきなさい。
15. がっこうへは ならかな さかを ずっと のぼって  
いかなければ ならなかった。

## 第3課

## 拗音

拗音は、「い段」の子音に半母音「や、ゆ、よ」が続く音です。例えば、「きゃ、きゅ、きょ」のような音です。これらは仮名では2字ですが、拍数としては1拍です。拗音を発音する時は、仮名に惑わされず、2拍ではなく、きちんと1拍として発音してください。例えば、「規約〔きやく〕」は3拍ですが、「客〔きゃく〕」は2拍です。漢語の「家〔jia〕」「休〔xiu〕」の影響から、「じゃ」や「しゅ」を「じや」「じあ」、「しゅ」「しう」などと2拍に発音しないように気をつけてください。

なお、「旅客〔りよかく／りよきゃく〕」「鮭〔さけ／しゃけ〕」「十個〔じっこ／じゅっこ〕」などは、発音の「揺れ」として両方が認められています。ほかにも、実際の会話では、言いにくさから「宿題〔しゅくだい〕」が「しくだい」、「新宿〔しんじゅく〕」が「しんじく」と発音されることもありますが、正確ではありません。例えば、「出火〔しゅつか〕」や「春分の日〔しゅんぶんのひ〕」を「しつか」「しんぶんのひ」と発音したりすると、それぞれまったく別の意味、「失火」「新聞の日」になるので、きちんと発音するよう心がけてください。

## 練習問題

## 1. 次の言葉を発音してください。

1. きょうし      2. おちや      3. もくひょう      4. がくしゅう  
 5. きょうしつ      6. じしょ      7. しゅっぱつ      8. きょうだい  
 9. ゆしゅつ      10. りょうり      11. しょうゆ      12. ふくしゅう  
 13. しゃかい      14. ジュース      15. びょういん      16. ニュース  
 17. きゅうにく      18. しゃちょう      19. ちゅうちよ      20. じゅぎょう

## 2. 発音を聞いて、それと同じものを次の a、b から選んでください。

1. (a) いりょう      (b) いらりょう      2. (a) おもちや      (b) おもちや  
 3. (a) りょうし      (b) りりょうし      4. (a) きょう      (b) きりょう  
 5. (a) ゆうしょう      (b) ゆうそう      6. (a) きょうよう      (b) こうよう  
 7. (a) じゅう      (b) じりゅう      8. (a) ひょうしょう      (b) ほうしょう  
 9. (a) しゃいん      (b) サイン      10. (a) しょうじ      (b) そうじ

## 3. 次の文を声に出して読んでください。

1. しゃちょうが じけんの しょうにんとして しょうかんされた。  
 2. きょうは ごぜんちゅう びょういんへ いき ごごは こどもを  
 びょういんに つれていきます。  
 3. わがしゃでは じゅうだいの コンピューターを しゃいんに  
 じゅうに つかわせています。  
 4. ちゅうごくの にほんごがくしゅうしゃは きゅうげきに  
 ふえています。  
 5. じゅぎょうちゅうの おしゃべりを せんせいに ちゅういされました。  
 6. しょうらいの しょくぎょうとして きょうしを えらぶ がくせい  
 が ふえています。  
 7. ひじょうに きょうりよくな きょうそうあいてが あらわれました。

8. その ミュージカルには ひやくにんもの やくしゃが  
しゅつえんしています。
9. じゅうねんの けんきゅうの けっか あたらしい ねんりょうを  
つけた じどうしゃが どうじょうしました。
10. しゃちょうと おちょうが おしょくで じしょくしました。
11. ぎゅうにゅうの しょうひりょうが きよねんより  
げんしょうしました。
12. じゅぎょう しゅうりょうの チャイムとともに がくせいが  
きょうしつから とびだした。
13. にゅうがくしきでは しんにゅうせいが にゅうじょうするとき  
はくしゅを します。
14. しょうぼうしょの まえは ちゅうしゃきんしですから  
ちゅういしてください。
15. きゅうぎゅうしゃを よびたいときは ひやくじゅうぎゅうばんに  
でんわしてください。



## 第1課

## 長音

長音は、前の母音を1拍分伸ばした音で、「引く音」とも呼ばれています。日本語は、母音を1拍分伸ばすか伸ばさないかで意味を区別することが多いです。例えば、「おじさん」と「おじいさん」、「ビル」と「ビール」では意味がまったく違います。したがって、長音を発音する時は、きちんと1拍分の長さを保つことが大切です。

漢語は、日本語のように音を同じ長さで区切ることはありません。また、母音を伸ばすか伸ばさないかで意味を区別することもないので、漢語話者は長音を1拍としてきちんと発音するのが難しいようです。意識的に少し長めに伸ばすようにして、十分練習してください。

「え段」の長音と「お段」の長音を平仮名で書く場合、「ええ」「えい」、「おお」「おう」と、それぞれ2種類の表記があります。どちらも基本的に長音として発音してください。例えば、「お姉さん〔おねえさん〕」「映画〔えいが〕」、「多い〔おおい〕」「王様〔おうさま〕」などです。

なお、片仮名語の長音は「エリート」「オーバーコート」のように「ー」で表します。

## 練習問題

## 1. 次の言葉を発音してください。

1. おかあさん    2. おとうさん    3. おにいさん    4. おねえさん  
 5. ゆうじん    6. こおり    7. しょうり    8. えいが  
 9. デパート    10. ビール    11. プール    12. テープ  
 13. コート    14. こうこう    15. くうこう    16. ゆうめい  
 17. モーター    18. コーヒー    19. こうこうせい    20. スーパーマーケット

## 2. 発音を聞いて、それと同じものを次の a、b から選んでください。

1. (a) いっそ    (b) いっそう    2. (a) ちず    (b) チーズ  
 3. (a) こどく    (b) こうどく    4. (a) こどう    (b) こうどう  
 5. (a) とし    (b) とうし    6. (a) かど    (b) カード  
 7. (a) じよりゅう    (b) じょうりゅう    8. (a) こせい    (b) こうせい  
 9. (a) ようじょ    (b) ようじょう    10. (a) こよう    (b) こうよう

## 3. 次の文を声に出して読んでください。

1. スポーツの なかでは スキーが いちばん すぎです。  
 2. ここは いもうとが かよっている こうこうです。  
 3. ふゆに ゆきやまに のぼる ゆうきは わたしには ありません。  
 4. きょうじゅうに きょうじゅうの へんじを もらいましょう。  
 5. おとうとの ゆめは げいのうじんに なって ゆうめいに  
なることです。  
 6. ちゅうごくの しゅうかんを どう おもうかは それぞれの  
しゅうかんに よります。  
 7. わたしの きょうりまでの きよりは ひこうきで よじかんほどです。  
 8. いまは じよせいぎんが だせるような じょうせいでは ない。  
 9. いっしょう あなたと いっしょに いたいです。

10. おじさんと おじいさんは たんじょうびが おなじです。
11. こしょうした きかいの しゅうりひの けんで メーカーと  
こうしょうします。
12. ことしも ちゅうごくは けいきが いいので どんどん  
とうししてください。
13. ぶんつうしている にほんの ゆうじんから こうくうびんが  
とどきました。
14. あたらしい エネルギーとして たいようねつや ふうりよくの  
りょうが けんとうされています。
15. とうきょうと きょうとは にほんを だいひょうする ゆうめいな  
としです。

## 第2課

## 撥音

撥音は、仮名「ん」で表される音です。これは、あとに来る子音と同じ唇の状態や舌の位置で1拍分鼻から息を抜く音で、次の5種類に分けられます。

①「ば、ば、ま」行の前の「ん」は、両唇を合わせて鼻から息を抜く音です。

例:「乾杯 [かんぱい]」「暖房 [だんぼう]」「運命 [うんめい]」

②「さ、ざ、た、だ、な、ら」行の前の「ん」は、舌の前の部分〔「ら行」は舌尖〕を歯茎にあてて鼻から息を抜く音です。ただし、「さ行」の前の「ん」は実際の発音では、舌と歯茎が少し離れていることが多いです。また、「に」や「ち」など「い段」の前の「ん」は、調音点が歯茎より少し後ろ寄りになります。

例:「先生 [せんせい]」「漢字 [かんじ]」「反対 [はんたい]」「現代 [げんだい]」「案内 [あんない]」「信頼 [しんらい]」

③「か、が」行の前の「ん」は、舌の真ん中の部分を上顎の真ん中から後ろの軟らかい部分にあてて鼻から息を抜く音です。

例:「健康 [けんこう]」「日本語 [にほんご]」

④語末の「ん」は、舌の奥の部分を上顎の奥の部分にあてて鼻から息を抜く音です。

例：「日本〔にほん〕」「作文〔さくぶん〕」

⑤「あ、や、わ」行の前の「ん」は、④とだいたい同じ舌の位置で鼻から息を抜く音ですが、実際の発音では、舌と上顎が離れていることが多いです。

例：「恋愛〔れんあい〕」「今夜〔こんや〕」「電話〔でんわ〕」

漢語では、語末に②や③の音がよく現れます。例えば「天〔tian〕」や「中〔zhong〕」などです。その影響からか、漢語話者は④と⑤の「ん」を②か③で代用してしまう傾向があります。特に、④と⑤の「ん」を②で代用した場合には、拍感覚の弱さも手伝って、違った意味になったり、意味がわかりにくくなったりすることが多いので、注意が必要です。例えば、「せんえん〔千円〕」を「せんねん〔千年〕」、「ほんを買った」を「ほんの買った」のように発音してしまう傾向があります。

---

## 練習問題

---

1. 次の言葉を発音してください。

- |                       |                      |          |                             |
|-----------------------|----------------------|----------|-----------------------------|
| 1. しんぶん               | 2. <sup>1</sup> ホンコン | 3. きんがん  | 4. <sup>1</sup> こんなん        |
| 5. こんらん               | 6. <sup>1</sup> ほんや  | 7. みんわ   | 8. かんしん                     |
| 9. しんあい               | 10. せんいん             | 11. あんうん | 12. てんあんもん <sup>1</sup> ひろば |
| 13. <sup>1</sup> たんおん | 14. けんあん             | 15. おんいん | 16. ぼいん <sup>1</sup> おんそ    |
| 17. きんえん              | 18. えんえん             | 19. きんうん | 20. まんいんおんれい                |

## 2. 発音を聞いて、仮名を使って書き取ってください。

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. _____ | 2. _____  |
| 3. _____ | 4. _____  |
| 5. _____ | 6. _____  |
| 7. _____ | 8. _____  |
| 9. _____ | 10. _____ |

## 3. 次の文を声に出して読んでください。

1. インドの いどは なんとぐらいですか。
2. じぶんの ちからを かしんするのは かんしんしません。
3. じけんの ほうどうでは かんけいしゃの じんけんに じゅうぶん はいりよすべきです。
4. たいいくかんは いちまんにんの かんしゅうで まんいんになりました。
5. べんろんたいかいは きんちょうしましたが とても きちょうなたいけんでした。
6. たんにんの せんせいに タイの おかねの たんいは なにかとしつもんされました。
7. わたしは もう さんねんかん きんえんしています。
8. つうきんじかнтаいの でんしゃは どれも たいへん こんでいます。
9. あんぜんせいの たかい しんかんせんは あんしんして のれます。
10. てんらんかいに さくひんを しゅってんして じしんが つきました。
11. キンさんは ぶんぼうは まあまあですが かんじんの はつおんが ぜんぜん だめです。
12. フルマラソンに さんかするのなら じゅうぶんに じゅんびして のぞんだほうが いいですよ。
13. カンさんは うんどうかいの さんぜんメーターきょうそうで さんいになりました。

14. にほんえんを じんみんげんに かんきんしたいのですが なんばんの  
まどぐちですか。
15. かいしゃの うんてんしきんとして ぎんこうから さんぜんまんえん  
かりました。

第3課

促音

促音は次の子音と同じ唇の状態や舌の位置で1拍分待つ音で、「つまる音」とも呼ばれます。ただし、「さ、は」行の前の促音は1拍分待つというより、次の子音を1拍分早く発音することになります。

促音は主として「か、さ、た、ぱ」の各行の前に現れます。例えば、「サッカー」「ざっし」「きって」「コップ」などがそうです。また、外来語や強調形では、「は行」や「が、ざ、だ、ぱ」行の前にも現れます。例えば、「バツハ」「バツグ」「バツジ」「ベッド」「グッバイ」などがそうです。

促音の発音も長音と同じように、1拍分きちんと保つことが大切です。例えば、「自習〔じしゅう〕」は3拍ですが、「実習〔じっしゅう〕」は4拍です。「切〔き〕ってください」を「来〔き〕てください」と誤解されないよう、十分練習してください。

練習問題

1. 次の言葉を発音してください。

- |             |           |            |            |
|-------------|-----------|------------|------------|
| 1. けつか      | 2. ざっし    | 3. きつと     | 4. りつぱ     |
| 5. けっこう     | 6. れっしゃ   | 7. まったく    | 8. しゅっぱつ   |
| 9. チェック     | 10. クッション | 11. スイッチ   | 12. ショップ   |
| 13. せっきよくてき | 14. おっしやる | 15. しゅつちょう | 16. はっぴょう  |
| 17. ゴッホ     | 18. バツジ   | 19. ビッグ    | 20. コックピット |

## 2. 発音を聞いて、それと同じものを a、b から選んでください。

1. (a) した (b) したつた 2. (a) おと (b) おつと  
 3. (a) かき (b) かつき 4. (a) さか (b) さつか  
 5. (a) せと (b) セット 6. (a) しかり (b) しっかり  
 7. (a) げこう (b) げっこう 8. (a) もと (b) もつと  
 9. (a) たち (b) タッチ 10. (a) じかん (b) じっかん

## 3. 次の文を声に出して読んでください。

1. きつてを かってきてください。  
 2. かつこの なかに かこけいを かきなさい。  
 3. かれは ずっと そばに いてくれと 言って ゆびわを くれた。  
 4. いつか いっかぜんいで かいがいりょこうに いてみたいです。  
 5. うたつた うたを シーディーにして うつた。  
 6. げつきゅうが げんきゅうに なって がっかりした。  
 7. ジュースを こぼして ベッドが べとべとに なってしまった。  
 8. きちんとした キッチンを みて きつと おくさんが  
 きれいずきなのだろうと おもつた。  
 9. せっかく つくつた クッキーだったが やくときに  
 しっばいしてしまった。  
 10. がんばつて じっしゅうした けっか この がっこうに しごとが  
 きまつた。  
 11. たつた いかいぐらいの しっばい どうってことないよ。  
 12. ホットドッグを みつづ かってきてください。  
 13. いまから はしつていつたつて きつと まにあわないよ。  
 14. せっかく したしく なつたのに オウさんは いっかげつで  
 ひっこしていつた。  
 15. バブルほうかいの けっか けいきは あつかの いつとを たどつた。



## 第1課

## 母音の無声化

日本語の母音は、発音される前後の環境によっては、母音の口の形で息は出ているものの、実際には音が聞こえないことがあります。これを「母音の無声化〔むせいか〕」といいます。無声化する母音は、主に「い段」と「う段」で、その無声化する環境は、主として次の二つです。[。]は無声化した母音を表します。

①無声子音〔か、さ、た、は、ぱ行の子音〕にはさまれた時

例：「あした」「つくえ」

②無声子音に続いて語末、文末になる時

例：「ちゅうごく」「ただし、～」「～かきます」

母音の無声化ができなくても相手に意味を伝えることはできます。しかし、無声化しない日本語は不自然に聞こえますし、無声化した母音が聞き取れないと、相手の言っている意味がわからなくなる恐れもありますから、よく練習して耳を慣らしておく必要があります。

☞ ただし、大阪弁など関西方言の母音はあまり無声化しません。

## 練習問題

1. 発音を聞いて、それと同じものを次のa～cから選んでください。

- |              |          |          |
|--------------|----------|----------|
| 1. (a) きか    | (b) しか   | (c) ちか   |
| 2. (a) きかん   | (b) くかん  | (c) しかん  |
| 3. (a) しほう   | (b) ちほう  | (c) ひほう  |
| 4. (a) きかく   | (b) しかく  | (c) ひかく  |
| 5. (a) きせき   | (b) しせき  | (c) ひせき  |
| 6. (a) きはん   | (b) しかん  | (c) ひはん  |
| 7. (a) きたい   | (b) したい  | (c) きたい  |
| 8. (a) きこう   | (b) しよう  | (c) ひこう  |
| 9. (a) きて    | (b) して   | (c) ひて   |
| 10. (a) くき   | (b) すき   | (c) ふき   |
| 11. (a) くつう  | (b) ひつう  | (c) ふつう  |
| 12. (a) きく   | (b) ひく   | (c) ふく   |
| 13. (a) うち   | (b) つち   | (c) ふち   |
| 14. (a) しく   | (b) すく   | (c) つく   |
| 15. (a) きくし  | (b) ちくし  | (c) つくし  |
| 16. (a) きしつ  | (b) ししつ  | (c) ひしつ  |
| 17. (a) ぴくぴく | (b) ひくひく | (c) しくしく |
| 18. (a) しくしく | (b) すくすく | (c) ちくちく |
| 19. (a) ききます | (b) しきます | (c) ひきます |
| 20. (a) すかれる | (b) つかれる | (c) ひかれる |

2. 発音を聞いて、仮名を使って書き取ってください。

- |          |          |
|----------|----------|
| 1. _____ | 2. _____ |
| 3. _____ | 4. _____ |
| 5. _____ | 6. _____ |

7. \_\_\_\_\_ 8. \_\_\_\_\_  
9. \_\_\_\_\_ 10. \_\_\_\_\_

3. 次の文を声に出して読んでください。

1. たしか この ちかくに ちかてつの えきが あったはずです。
2. がくせいは きそくただしい せいかつを したほうが いいです。
3. ぜんこく とういつしけんまで もうすぐです。
4. きかくかいぎで いくつかの あんを ひかくけんとうしています。
5. わたしは むかしから しょうせつを かきたいと おもっていました。
6. しゅしがくは ちゅうごくから つたわつたものです。
7. ぶんかくちゅうは おおくの ひとが つらい つきひを  
おくりました。
8. きょういくしゃには ほうふな ちしきと けいけんが ひつようです。
9. きゅうそくに としかが すすみ じゅうたくちが ふえました。
10. すしを たくさん つくりましたから あそびに きてください。
11. こくひりゅうがくせいは しひりゅうがくせいより ゆうふくです。
12. かなしくて なぎたくなつたとき やさしくしてもらうと  
うれしいです。
13. しちがつ ふつかは がつきまつしけんなので よく ふくしゅう  
しておくように。
14. あした くつしたを いつそく かつてきてください。
15. にほんは しきに よつて その けしきが うつくしく  
へんかします。

## 第2課

## 鼻音化

「が行」音は息が口から出てくる音ですが、発音される環境によっては、息が鼻から出る鼻音になる場合があります。これを「鼻音化〔びおんか〕」といいます。

「げんき」「ぎんか」など、語頭の「が行」音は鼻音化しません。鼻音化するのは、例えば「ここ」「くぐる」など、語中の「が行」音です。ただし、語中の「が行」音でも、次の場合には普通鼻音化しません。

### ① 外来語中の「が行」音

例：「エネルギー」「スパゲッティ」

例外：「イギリス」「オルガン」など、古く日本に入って定着した言葉は鼻音化します。

### ② 擬声語や擬態語中の「が行」音

例：「がたがた」「ごしごし」

### ③ 数詞の「5／五」

例：「15〔じゅうご〕」「753〔ななひゃくごじゅうさん〕」

例外：「十五夜〔じゅうごや〕」「七五三〔しちごさん〕」など、固有名詞化しているものは鼻音化します。

### ④ 軽い接頭語の次の「が行」音

例：「お元気〔げんき〕」「不合格〔ふごうかく〕」「大劇場〔だいげきじょう〕」

最近では鼻音化させないで発音する人が多くなって

いるといわれます。特に若い人の中でその傾向が強いようです。また、もともと鼻音化という現象のない地方もあります。鼻音化させなくても、相手に意味を伝えることはできます。しかし、聞き取りの際、耳が慣れていないと鼻音化した音を「あ行」音や「な行」音などに聞き間違えてしまう恐れがあります。例えば、「かぎ」は「かい」や「かに」に聞き間違いやすいです。やはり、よく練習して耳を慣らしておく必要があります。

### 練習問題

1. 発音を聞いて、それと同じものを次の a～c から選んでください。

- |               |           |              |          |
|---------------|-----------|--------------|----------|
| 1. (a) ごこ     | (b) ごご    | 2. (a) つぎ    | (b) つぎ   |
| 3. (a) むき     | (b) むぎ    | 4. (a) あける   | (b) あげる  |
| 5. (a) きこう    | (b) きごう   | 6. (a) ぎんか   | (b) ぎんが  |
| 7. (a) くくる    | (b) くぐる   | 8. (a) さける   | (b) さげる  |
| 9. (a) つける    | (b) つげる   | 10. (a) かんけい | (b) かんげい |
| 11. (a) しこ    | (b) しご    | 12. (a) キング  | (b) きんく  |
| 13. (a) かぎ    | (b) かき    | 14. (a) むごん  | (b) むこん  |
| 15. (a) えんぎ   | (b) えんき   | 16. (a) いんか  | (b) いんが  |
| 17. (a) かんがく  | (b) かんかく  | 18. (a) ぬがない | (b) ぬかない |
| 19. (a) ちかいます | (b) ちがいます |              |          |
| 20. (a) げんかい  | (b) けんかい  | (c) けんがい     |          |

2. 発音を聞いて、仮名を使って書き取ってください。

- |          |          |
|----------|----------|
| 1. _____ | 2. _____ |
| 3. _____ | 4. _____ |

5. \_\_\_\_\_ 6. \_\_\_\_\_  
 7. \_\_\_\_\_ 8. \_\_\_\_\_  
 9. \_\_\_\_\_ 10. \_\_\_\_\_

3. 次の文を声に出して読んでください。

1. ちゅうごくの えいがは おもしろいです。
2. まごは せいご よんかげつの あかちゃんです。
3. いま ごご ごじ じゅうごふんです。
4. にほんごの けいごは むずかしいです。
5. おんがくかいの プログラムを いちぶ かってきてください。
6. なにげなく そとを ながめていると かのじよの うしろすがたが みえるのに きがつきました。
7. ほんじつは おいそがしいところを ありがとうございます。
8. ことしの ねんがじょうは ほんがに しました。
9. ほんにんは にぎやかな はんかがいを にげていきました。
10. しんごうが かわると くるまが うごきだしました。
11. なにか ふしぎなものが うごいています。
12. オルガンを ひきながら うたを うたいます。
13. おとなが まんがを よみたがるのは ふしぎです。
14. たんごを いいかげんに おぼえたので まちがえてしまいました。
15. ろんぎが やがて けんかに なっていました。





## 第1課

## 母音

日本語の母音は「あ、い、う、え、お」の五つです。朝鮮語にも日本語と似た母音がありますが、発音の仕方が少し違います。

「あ」の発音は朝鮮語の「아」とよく似ていますが、「あ」のほうが口の開け方がころもち小さいです。朝鮮語の「아」よりほんの少し口を小さくして、あとはそのまま「아」と発音してください。

「い」の発音は朝鮮語の「이」とよく似ていますが、「い」のほうが唇の引き方がころもちゆるやかです。「이」の発音のように唇を横に引きすぎないようにしましょう。

「う」の発音は特に注意が必要です。朝鮮語には2種のよく似た音「우」と「우」が存在します。「う」は「우」と「우」の中間の音と考えてよいでしょう。「우」は唇を引く音で、「우」は唇を前に突き出す音ですが、「う」の口の形は「우」にやや近いです。

「え」の発音も注意が必要です。朝鮮語には2種のよく似た音「에」と「에」が存在しますが、「에」は口を大きく開けて発する音で、「에」は唇を引く音です。「え」はその中間ですから、軽く口を開けてください。

「お」の発音にも注意してください。朝鮮語には2種のよく似た音「어」と「오」があります。「어」は口を大きく開けて発する音で、「오」は唇を前に突き出す音です。「お」の口の形はその中間ですが、やや「어」に近いと考えてください。

日本語のリズムの基本は拍です。1拍は仮名1字、拗

音は2字にあたり、いずれの音も長さはほぼ同じです。このことから、母音がつながった場合は、いずれもほぼ同じ長さではっきり発音することが大切です。長さがひとつひとつ違ったり、あいまいな発音になったりしないよう注意してください。

### 練習問題

1. 次の言葉を発音してください。

- |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. あい    | 2. あう    | 3. いえ    | 4. うお    |
| 5. おい    | 6. あおい   | 7. いえん   | 8. イオン   |
| 9. えいい   | 10. おいえ  | 11. おおい  | 12. あいえん |
| 13. あいいん | 14. あいおい | 15. あおあお | 16. いいあい |
| 17. うんえい | 18. えいえん | 19. えんえい | 20. おんいん |

2. 発音を聞いて、それと同じものを次の a～c から選んでください。

- |              |          |          |
|--------------|----------|----------|
| 1. (a) あい    | (b) あお   | (c) あう   |
| 2. (a) あき    | (b) えき   | (c) おき   |
| 3. (a) ある    | (b) いる   | (c) える   |
| 4. (a) しし    | (b) すし   | (c) そし   |
| 5. (a) はい    | (b) はう   | (c) はえ   |
| 6. (a) あえん   | (b) いあん  | (c) いえん  |
| 7. (a) かんり   | (b) きんり  | (c) けんり  |
| 8. (a) せいほう  | (b) さいほう | (c) せいふう |
| 9. (a) はいきん  | (b) はいけん | (c) はいかん |
| 10. (a) たいしつ | (b) たいせつ | (c) とうしつ |

## 3. 次の文を声に出して読んでください。

1. あおは あいより いでて あいより あおし。
2. いいんたちは えんえんと ぎろんを つづけました。
3. おかねを ためて よんせんまんえんの いえを かいました。
4. ウエイトレスが ウイスキーを もってきました。
5. この おんせんは いおうの においが します。
6. おおさかに いる おねえさんと サッカーの しあいを おうえんしに いきます。
7. こうえんで おいに あい あいさつされました。
8. ははおやに おあやまりなさい。
9. よんわの うが あゆを おいあうのを ふねのうえから けんぶつしました。
10. あわてていて うんてんめんきょしょうを いえに おいてきてしまいました。
11. いあんりょこうで おいしい かわうおりょうりを たべました。
12. ういういしい ふたりは きょうかいで えいえんの あいを ちかった。
13. おうの あとを ついで おういに ついた おうじを くにじゅうの ひとが いわいました。
14. きんえんして さんねんですが たばこの せんでんを みると つい すいたくなります。
15. にせんねんを きねんして たくさんの ひとびとが てんあんもんに あつまりました。

## 第2課

## 半母音

「や」「ゆ」「よ」は「や行」の半母音に母音「あ」「う」「お」が付いた音です。「わ」は「わ行」の半母音に母音「あ」が付いた音です。「や行」の半母音は摩擦が弱く、母音の「い」に似た音です。また「わ」は唇を丸めずに発音するので、母音の「う」に似た音になります。口の開け方や形は母音の場合と同様、朝鮮語のよく似た音の干渉を受けないように注意しなければなりません。

「や」の発音は朝鮮語の「야」とよく似た音ですが、「や」のほうが口の開け方がこころもち小さいです。朝鮮語の「야」よりほんの少し口を小さくして、あとはそのまま「야」と発音してください。

「ゆ」の発音は特に注意が必要です。朝鮮語の「유」とよく似た音ですが、「ゆ」は「유」ほど唇を突き出しません。

「よ」の発音にも注意してください。朝鮮語には2種のよく似た音「여」と「요」があります。「여」は口を大きく開けて発音する音で、「요」は唇を前に突き出す音です。「よ」の口の形はその中間ですが、やや「여」に近いと考えてください。

☞ 実際の会話では、一つの単語の中で1拍目と2拍目に母音が続くような場合、その言いにくさをやわらげるため、半母音を「わたり音」、つまり「橋渡しの音」として母音の間にいれて発音することがあります。例えば、「試合〔しあい〕」を「しやい」と発音したり、「場合〔ばあい〕」を「ばわい」と発音したりします。

しかし、教育現場では、ふだんからできるだけきちんとした発音をするよう心がけてください。

## 練習問題

### 1. 次の言葉を発音してください。

- |                         |          |                         |                          |
|-------------------------|----------|-------------------------|--------------------------|
| 1. あいよう                 | 2. きゆう   | 3. しょう                  | 4. やさしい                  |
| 5. ゆう <sup>1</sup> ゆう   | 6. ようやく  | 7. かわ <sup>1</sup>      | 8. わさび                   |
| 9. あやふや                 | 10. つゆいり | 11. ゆうやけ                | 12. よゆう                  |
| 13. われわれ                | 14. わざわざ | 15. ゆわか <sup>1</sup> しき | 16. わるよい                 |
| 17. やわらか <sup>1</sup> い | 18. ゆうわく | 19. めいわく                | 20. よわよわ <sup>1</sup> しい |

### 2. 発音を聞いて、それと同じものを次のa、bから選んでください。

- |                 |             |             |          |
|-----------------|-------------|-------------|----------|
| 1. (a) よじ       | (b) やじ      | 2. (a) かいやく | (b) かいあく |
| 3. (a) せんよう     | (b) せんおう    | 4. (a) しんゆう | (b) しんよう |
| 5. (a) ゆき       | (b) うき      | 6. (a) われる  | (b) あれる  |
| 7. (a) ゆうわく     | (b) ゆうやく    | 8. (a) ゆうやく | (b) ようやく |
| 9. (a) やせい      | (b) わせい     |             |          |
| 10. (a) ことわるごとに | (b) ことあるごとに |             |          |

### 3. 次の文を声に出して読んでください。

1. きんゆうぎ<sup>1</sup>ようかいでは きん<sup>1</sup>ようびの <sup>1</sup>ごごは ゆつたり <sup>1</sup>できない。
2. さいわい <sup>1</sup>さいあいの つまは <sup>1</sup>けがもなく <sup>1</sup>ぶじだ<sup>1</sup>った。
3. わる<sup>1</sup>いと おも<sup>1</sup>ったら <sup>1</sup>はやく <sup>1</sup>あや<sup>1</sup>まったほうが <sup>1</sup>いいですよ。
4. せん<sup>1</sup>せいが <sup>1</sup>かわること<sup>1</sup>は <sup>1</sup>せいとの <sup>1</sup>しん<sup>1</sup>ように <sup>1</sup>かか<sup>1</sup>わるので <sup>1</sup>よくないです。
5. つうやく<sup>1</sup>は <sup>1</sup>ほんやくと <sup>1</sup>ちがって <sup>1</sup>はやさが <sup>1</sup>ようきゆう<sup>1</sup>されます。
6. にほん<sup>1</sup>は <sup>1</sup>げんゆを <sup>1</sup>ゆにゆうして <sup>1</sup>しょうひんに <sup>1</sup>かこう<sup>1</sup>しています。

7. みんなで ちからを あわせて ようやく ゆうしょうできました。
8. つゆに なると しょうゆのようなものまで だめに なります。
9. しんゆうと よべる ゆうじんを もっと ふやしたいです。
10. わがやの ゆうしょくは わしょくより ようしょくのほうが おおいです。
11. ゆあがりに ゆかたを きて えんがわで ゆうずみを しました。
12. ゆわかしきで おゆを わかしてください。
13. スーパーの やさいは やおやより やすいです。
14. かれが やつと わたしに こんやくゆびわを くれました。
15. よやくじかんは よじですが よゆうを もって すこし はやめに いきましょう。

1. 母音の分類  
 2. 母音の発音  
 3. 母音の対立  
 4. 母音の連続  
 5. 母音の混合  
 6. 母音の長短  
 7. 母音の高低  
 8. 母音の前後  
 9. 母音の開口度  
 10. 母音の舌位